

河川整備計画って何？

河川整備計画は、以下に示す河川整備基本方針に基づき、概ね30年間の河川整備の目標、河川工事・維持等の実施に関する事項を定めるものです。

河川整備基本方針

河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

長期的な視点に立った河川整備（治水、利水、河川環境の整備と保全）に関する基本方針を決定します。

河川工事の実施の基本となるべき計画に関する事項

河川整備（治水、利水、河川環境の整備と保全）の考え方を記述します。

社会資本整備審議会の意見を聴きます。
策定後に公表します。

河川整備計画

河川整備の目標

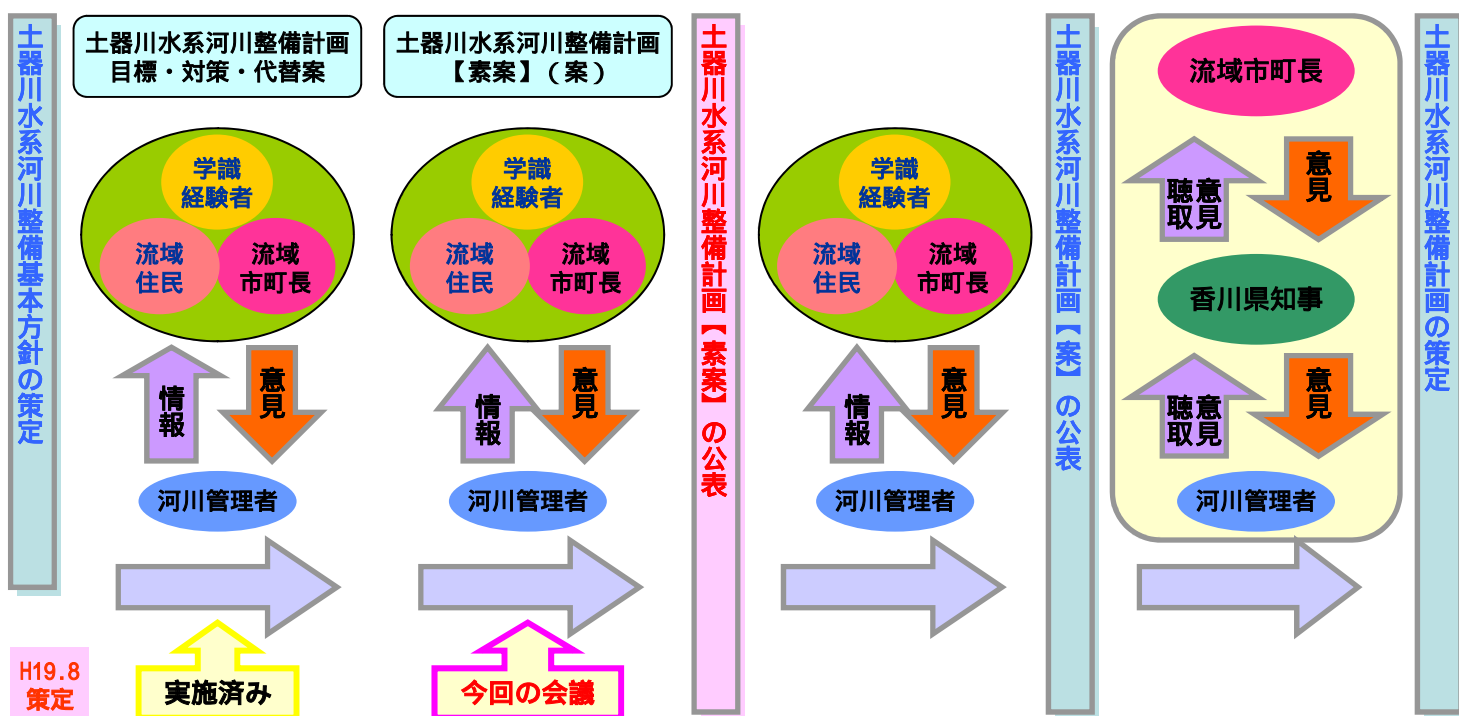
20～30年後の河川整備（治水、利水、河川環境の整備と保全）の目標を明確にします。

河川の整備の実施に関する事項

個別事業を含む具体的な河川整備の内容を明らかにします。

関係地方公共団体の長の意見を聴きます。
学識経験者や関係住民の意見を聴きます。
策定後に公表します。

土器川水系河川整備計画策定の流れとこれからの進め方



土器川水系河川整備計画に関する情報については、下記の「土器川水系河川整備計画ホームページ」にアクセスして下さい。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/seibikeikaku/index.html>

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは

国土交通省四国地方整備局 香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>
〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL: 087-821-1623(計画課直通) FAX: 087-821-1713

DOKIGAWA

リバーキーパーズ



RiverKeepers

つうしん

Vol.074特別号(平成23年2月)

国土交通省四国地方整備局では、平成19年8月に策定された「土器川水系河川整備基本方針」を受け、今後30年間程度の具体的な河川整備の内容を示す「土器川水系河川整備計画」の検討を進めてきました。

「土器川水系河川整備計画」の策定にあたって、学識者、流域住民、関係市町長のご意見を計画に反映するため、平成22年11月～12月に「意見を聴く会」を開催するとともに、パブリックコメントを行い、皆様から多数のご意見を頂きました。

キーワード：河川整備計画に関するご意見

第1回 土器川流域学識者会議(平成22年11月12日)

委員は、7名の学識者で構成されています。

第1回会議では、土器川の現状と課題、土器川水系河川整備基本方針を説明し、土器川水系河川整備計画の治水の目標に関するご意見を聴きました。



第2回 土器川流域学識者会議(平成22年12月6日)

第2回会議では、計画段階での治水・環境対策案の検討内容に関するご意見を聴きました。

第1回 土器川流域住民の意見を聴く会

(平成22年12月14日)

土器川流域周辺の多くの住民の方々にご参加いただきました。

第1回会議では、計画段階での治水・環境対策案の検討内容に関するご意見を聴きました。



第1回 土器川関係市町長の意見を聴く会

(平成22年12月24日)

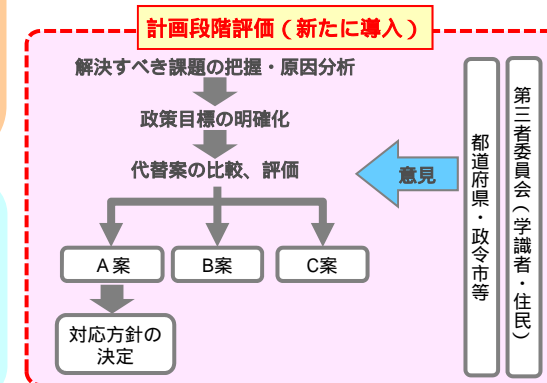
土器川に關係する3市3町長で構成されています。

第1回会議では、計画段階での治水・環境対策案の検討内容に関するご意見を聴きました。

計画段階評価って何？

公共事業の実施過程の透明性を一層向上させるため、事業の必要性等が検証可能となるよう評価の手法を改善するとともに、計画段階での事業評価を新たに導入

政策目標価値型事業評価の一般的な流れ



各「意見を聴く会」等で頂いたご意見を反映した「土器川水系河川整備計画【素案】(案)」を作成しました。

「意見を聴く会」やパブリックコメントより、多数のご意見を頂きました。多数のご意見の中から、主なご意見（要約）をご紹介します。

「第1回 土器川流域学識者会議」での主なご意見

計画全般

- ◆ 基本方針の構想をより具体化する計画づくり（いつ、だれが、どこで、何を、どうする）をしていかなければいけない。
- ◆ 川でできなくても流域として広げて考えることもできる。（例えば流域全体の保水力、流出の抑制を図る等）
- ◆ 上流域の山々でもし森林が荒廃すると、流出や水質に影響を及ぼすことになるため、同じ土器川の中でも国と県が責任を持ってやる部分があり、「関係機関と連携をする」というところは、重要な前提である。
- ◆ 土器川自体に正常流量を確保できないということだが、川から離れた水路では、水が流れ、そこが生き物の場になっているということもある。
- ◆ 流域単位の広い視点で、国土交通省から関係機関への発信を主体的に積極的にしていくことも整備計画に含めていただきたい。
- ◆ 整備期間中に目標以上の洪水が起こる可能性もあり、ソフト対策、避難、人命、救助の問題、あるいは環境への配慮も含めて対応をとることが必要である。
- ◆ 当面の整備目標流量に対する整備が、長期的な目標流量に対する整備に向けて無駄となる整備ではいけない。
- ◆ 整備計画期間中の超過洪水の発生、東南海・南海地震による影響等が予想される場合等のいろんな状況に応じて、整備計画の見直しや検討をするのか？また、対応の仕方は？
- ◆ 地球温暖化に伴う気候変化を踏まえ、ゲリラ豪雨や将来の降雨予測等を収集した検討・計画は考えないのか？



「第2回 土器川流域学識者会議」での主なご意見

計画全般

- ◆ 素案の目次（案）について、治水、利水、環境、防災というのは相互関係しているため、目次で治水・防災がもう少し見えやすいようにすると、バランスのいい計画になると思う。
- ◆ 異常気象を踏まえ、整備計画期間中のソフト対策の重要性が想定されるため、ソフト対策の具体的な検討をしていただきたい。
- ◆ 防災などは、これまであまり重要視されてこなかった、あるいは予算がつきにくいという部分があったりするが、住民との会議等でも重要な要素になると思われるため、検討いただきたいと思う。

治水

- ◆ 特に下流部において、一般の方々には、どれくらい被害があるのなかなか想像、イメージができないと思う。想定される浸水区域図で被害状況を示すと、事業の必要性とともに、環境への配慮はあるが治水を優先しなければならないなどの、いろんな判断ができるのではないかと。
- ◆ 治水対策で「樹木の伐採を必要最小限にする」について、「必要最小限」というところをもう少し河道の物理特性に応じた伐採面積や植生、生物等の環境面などの、治水と環境のバランスの表現を工夫していただきたい。

環境

- ◆ 河川利用の親水について、現状のあり方がどうなのかあまりよくわからないところがあると思うので、もう少し現状分析を行い、現状とどうつながりながら親水環境が利用できていくのかの方向性が必要と思う。

管理

- ◆ 土砂輸送に関して、管轄の違う上流を含めた流域全体での継続的なデータを計画の中でもとっていくスタンスが必要である。
- ◆ 河川環境について、改修影響を受ける箇所はすべてモニタリングしていくのは当然と認識しており、対応方針に必ず「モニタリング」という用語を入れておくのがよいと思う。

「第1回 土器川流域住民の意見を聴く会」での主なご意見

治水

- ◆ 整備計画の目標流量では小さいのではないかと？
- ◆ 突発的な集中豪雨で整備計画の目標流量を超える大きな流量が流れることも考えられるがどう考えているのか？
- ◆ 財政難の中で実現可能な事業だけでいいのか？地震や異常気象がいわれている中で、投資が無駄にならないよう、異常気象等も念頭において考えていただきたい。この目標は、今考える最大限の目標とは思えない。
- ◆ 今の排水ポンプ規模は小さすぎる。

環境

- ◆ 土器川河川敷公園（川西運動公園）が洪水のたびに冠水し、土砂が堆積し、公園の管理が大変である。瀬切れの解消や生態系への配慮を踏まえ、河床に堆積している土砂を撤去して河床を下げてほしい。川の中の運動公園ではあるものの、年間利用者も多く、大事な憩いの場所であることから、河床掘削を要望する。
- ◆ 土砂採取が禁止されているが、特例で河床を掘削することで、平常時に表流水が現れ、洪水の流下断面も大きくなるのではないかと？
- ◆ 瀬切れについて、川の断面積や河床高の変化、さらに周辺の取水の影響ではないかと思う。
- ◆ 瀬切れの寸前だが、水たまりのところで子供たちが遊んでいたのが、親水性が向上するような取り計らいをお願いしたい。

パブリックコメントの主なご意見

計画全般

- ◆ 公共事業は、税金を使うのだから、経済的に効率よく行わなければならない。
- ◆ 今までの災害・歴史や地元・関係市町長の意見を踏まえて、皆が納得する整備計画を策定していただきたい。

治水

- ◆ 菰川橋から琴平町にかけて、浸水のおそれはあるのか？
- ◆ 下流部河道湾曲区間の左岸側局所洗掘により危険な状態とよく聞くので、早く工事をお願いする。下流部の現在の工事はこの対応のものなのか？
- ◆ もし土器川が氾濫すると、宇多津町にも浸水するのか？早く対策を行ってほしい。
- ◆ 超過洪水に対しての浸水は、住まい方などの住民の努力も必要であると思う。
- ◆ 過去に災害が少ない地域のため、住民の防災意識が低い。
- ◆ 掘込河道部の流下能力不足に対して、量的対策が必要であり、案「右岸拡幅案」に賛成である。
- ◆ 今後も市民の安全確保及び、土器川整備実施についてがんばってください。

環境

- ◆ 水路ネットワーク調査や、掘込河道部の対策は是非進めて欲しい。
- ◆ 土器川は今も、環境学習（親から子への伝承の場）としての場であり、「生きている財産」を継続させて欲しい。
- ◆ 昔のような流水のある河川に戻ればよいと思う。
- ◆ 私の孫が大きくなる頃には、水が豊かに流れる川にして欲しい。

管理

- ◆ みんなが満足できる土器川であるために、役所と地域住民の意見交換会、住民による清掃活動、河川愛護活動等の機会を増やして欲しい。

「第1回 土器川関係市町長の意見を聴く会」での主なご意見

治水

- ◆ 丸亀市としては、下流部の「右岸引堤+河床掘削案」が非常にありがたい。また、左岸側の堤防の根固整備もお願いします。
- ◆ まんのう町としては、掘込河道部の川幅の狭い箇所の改修を早急に進めて欲しい。

環境

- ◆ 下流部の河道内には緑が少ないため、ヨシなどを少しでも残して、環境面にも配慮して欲しい。

さらに詳しいご意見の内容は、河川整備計画のホームページより、各会議の議事録をご確認下さい。

